



コンピュータ・シミュレーション

今後の課題

今、社会から要請されているのは、どの斜面が危険かだけでなく、いつ雪崩が発生するかを予測することです。このためには、山岳地の積雪が冬期を通じてどのように変化するかを山域全体で推定し、雪崩発生条件を求めなけれ

ばなりません。このためには、山地積雪分布を推定することが必要で、この研究と一体である山地積雪のデータベース化に関する研究の成果などを使用していく予定です。

(問い合わせ先：雪氷災害観測研究室)

「機関評価委員会」開催される

3月3日から3日間、私たちの研究所において、防災科学技術研究所機関評価委員会が開催されました。

この委員会は、海外からの4人を含む外部の有識者、専門家など12人で構成され、私たちの研究所のより効率的・効果的な組織運営・研究活動について助言をいただくことを目的としたものです。

当日の委員会では、研究所の組織・予算・人員などの運営・研究体制の適切性や現在実施している分野ごとの研究の課題設定や活動の妥当性などにつ

いて、活発な議論が交わされ、厳正な評価が行われました。

今回の委員会議事を反映した機関評価の最終結果は、5月ごろまでに取りまとめられ報告される予定です。

(問い合わせ先：管理部企画課)



若手・中堅研究者とも意見交換を行いました。

topics